

学童保育における命を守る「防災かるた」普及活動

提供学科：看護学科

○目的：

本プロジェクトは、未来の担い手である子どもへの防災教育・普及活動を介して、学生が地域住民との交流による新たなコミュニティづくりについて検討します。また、地域の方々の命を守ろうとする想いが込められた「防災かるた」を作成します。

本年度は、「防災かるた」に聴覚障がいの方へ配慮視点を加え、地域に暮らす子どもに合わせた「防災かるた」の作成や地域住民との相互関係について考えることを目的として実践しました。



◎ 実施内容：

- ・地域の防災活動に取り組んでいる地域住民の講話会へ参加
- ・学生の自宅と大学近隣市（東金市と山武市）の自然災害のリスクについてのハザードマップを用いた調査／調査発表（6～7月）
- ・教育委員会と消防防災課の講話会へ参加（6月）
- ・学童保育での「防災かるた」体験会の実施／副教材としての活用実施（5、6、12月）、／評価・改善案の検討
- ・手話の会開催（月1回）

○学びの効果：

本年度は、聴覚障がいをもつ子どもへの配慮として指文字を加えた「防災かるた」や災害時の具体的な行動および備えに関するすごろくゲーム、防災釣りゲーム、災害カードゲームを考案しました。教材を作成し、学童保育での子どもへの働きかけを通して、相手の年代・特徴に合わせた遊びや関わり方について考え実践する力を養うことができました。遊びを介した子どもの様子を観察する、疑問に答えるやり取りなどが、子どもだけでなく、学生自身の防災知識や地域の一員であるという意欲を高めることに繋がっていました。